

# 平成 30 年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
外国語	コミュニケーション英語 I (R)	1	1-1~1-6

## 1. 学習の到達目標

英語 I では、平易な英語を使用することより、英語を知る喜び、学ぶ楽しさを見つけ、英語に対する興味関心・問題意識が高まることを期すると共に、英語を通して異文化に触れさせる。教材は人権を含む社会問題全般に目を向け、考える機会を持つ。また、英文法の基礎学力の徹底を図る。

## 2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	LESSON1 [Why Do You Study English?] 中間考査	単元を通して、なぜ英語を勉強するのかについて考えさせる。 文法：be 動詞・一般動詞の現在形と過去形
	LESSON2 [Washoku: Our Traditional Food] 期末考査 基本的な文法事項の徹底を図る。	単元を通して、自国の伝統や文化を理解させ、それを世界に発信する姿勢を身に付けさせる。 文法：助動詞
2 学 期	LESSON3 [What should I Do?] 中間考査	単元を通して、自分のことも相手のことも尊重した、その場にふさわしい自己表現方法について考えさせる。文法：現在進行形、過去進行形
	LESSON4 [My School, Your School] 期末考査 基本的な文法事項の徹底を図る。	単元を通して、海外の高校生と学校生活の違いについて考えさせ、正しい異文化理解をさせる。 文法：不定詞
3 学 期	LESSON5 [Peace, the Polar Bear] LESSON6 [Flying Wheelchairs] 学年末考査 続きは次年度に継続	単元を通して、動物に対する人間の責任について再度考えさせる。 文法：動名詞  単元を通して、モノの大切さと奉仕の精神を学ばせる。 文法：現在完了

## 3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考査による評価、提出物等授業態度による総合評価
------	-------------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心をもち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	英語を用いて、自分の考えなどを話したり、書いたりする。	英語を聞いたり、読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解する。	英語の学習を通して、言葉とその背景にあるものの考え方や文化などを理解し、知識を身に付けている。

## 4. 使用教科書・副教材

使用教科書	Revised COMET English Communication I (数研出版)
副教材	自作プリント、辞書